

# NEXT PLAN

2021→2025

第2期中期経営計画

学校法人松本学園

# INDEX

銭坂 久紀・・・・・・・・・・ 2

学校法人松本学園 理事長  
松本短大幼稚園 園長

## NEXT PLAN 2021→2025

－策定の背景－

学園が目指すビジョン・・・・・・・・ 3

## NEXT PLAN 2021→2025

学校法人松本学園・・・・・・・・ 6

## NEXT PLAN 2021→2025

松本看護大学・・・・・・・・ 11

## NEXT PLAN 2021→2025

松本短期大学・・・・・・・・ 14

## NEXT PLAN 2021→2025

認証評価で指摘された改善事項・・19

松本短大幼稚園・・・・・・・・ 20

## NEXT PLAN 2021→2025

中期的な財務等に関する計画・・・ 22

## NEXT PLAN 2021→2025

木内 義勝・・・・・・・・・・ 31

学校法人松本学園 理事  
松本短期大学 学長

上條 節子・・・・・・・・・・ 32

学校法人松本学園 理事  
松本看護大学 学長

高山 知佳・・・・・・・・・・ 33

松本短大幼稚園 園長代行  
学校法人松本学園 評議員

玉井 和宏・・・・・・・・・・ 35

学校法人松本学園 法人事務局長  
松本短大幼稚園 事務長  
学校法人松本学園 評議員

# NEXT PLAN

## 2021→2025

### — 策定の背景 —

第2期中期経営計画（NEXT PLAN 2021→2025）は、教育・研究・地域社会への貢献を継続的に行っていくため、本学園の目指す将来像を描き、集中的に取り組むべきテーマを定め、実現に向けたプランをまとめたものです。

本学園は開学以来、地域社会のニーズに応えるかたちで、短期大学の学科増設や入学定員の変更、幼稚園の認定こども園化、大学の設置を行ってまいりました。創立50周年を迎えた今、本学園の地域社会における存在意義とはどんなものなのかを問い直し、どの方向に進んでいくべきなのかを明確にする必要があると考え、第2期経営計画（NEXT PLAN 2021→2025）を策定することといたしました。

この時期に第2期経営計画を策定した背景は、2016年4月に策定した第1期中期経営計画における計画期間である5年が経過したこと、2020年には松本短大幼稚園の認定こども園化を実現したこと、また2021年4月に松本看護大学を開学したことなどから、この2021年4月より松本学園の新たな中期経営計画である「NEXT PLAN 2021→2025」をスタートさせることといたしました。

この中期経営計画は、本学園が向かう今後の方向性を示し、自己点検・評価や改善事項を検討するために用いるためのツールの1つであり、全教職員が共有すべきものであると考えております。

第2期経営計画「NEXT PLAN 2021→2025」では“地域への恩返し”を学園が目指すビジョンに据え、実現するための4つの戦略に基づき数値目標を定め、その数値目標を達成するための行動目標・行動計画を策定しました。

大学や短期大学、幼稚園を取り巻く環境が非常に厳しくなっている今、第1期中期経営計画にも示された「和顔愛語」を旨として、地域社会に貢献できる松本学園となれるよう努めてまいります。

学校法人 松 本 学 園

理事長 銭 坂 久 紀

学園が目指すビジョン

# NEXT PLAN

2021→2025



“ 地域への恩返し ”

# 目指すビジョンを実現させる 4つの戦略

## STRATEGY 1 STRATEGY 2 STRATEGY 3 STRATEGY 4

学生・園児が成長する教育の実践  
ステークホルダーとの連携  
改革の推進とガバナンス体制の強化  
強固な経営基盤、再び！

## 戦略における 4つの数値目標

### STRATEGY 1 に関する数値目標

#### NUMERICAL GOAL 1

1. 国家試験合格率  
松本看護大学 看護師国家試験 **100%**  
保健師国家試験 **100%**  
松本短期大学 介護福祉士国家試験 **100%**  
看護師国家試験 **100%**
2. ダブルライセンス取得率  
松本短期大学 保育士資格・幼稚園教諭二種免許 **90%以上**
3. 退学率  
松本看護大学 **5%未満**  
松本短期大学 **4%未満**
4. 特別保育活動  
松本短大幼稚園 年 **20** 回以上  
(特別保育活動とは、運動あそびやスポーツクラブによる指導、英語教室など、園の独自の保育活動のことです。)
5. 園外保育の実施  
松本短大幼稚園 年 **3** 回以上

### STRATEGY 2 に関する数値目標

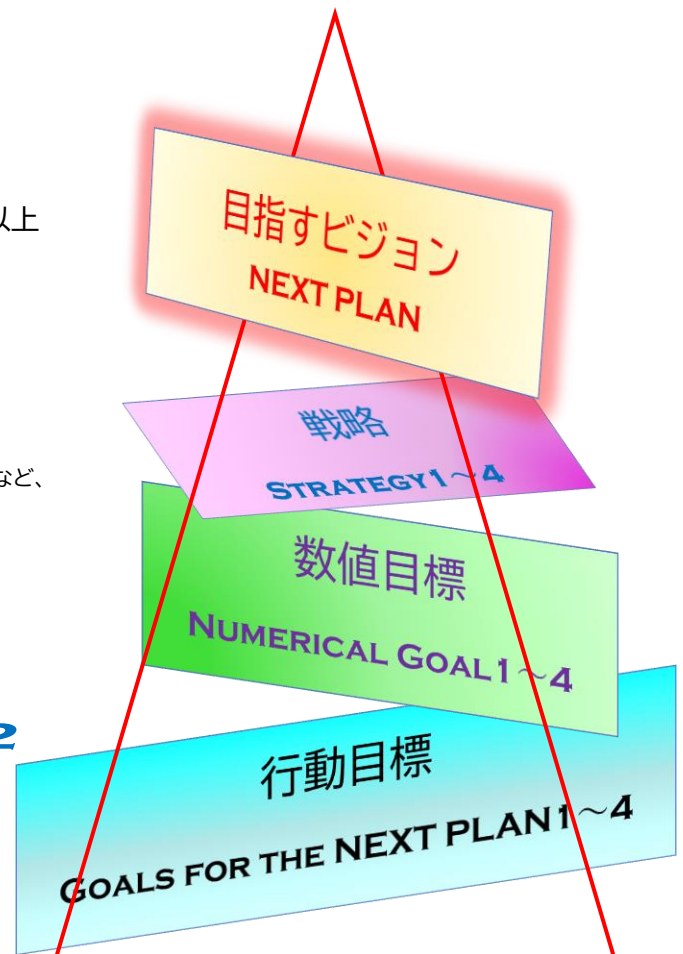
#### NUMERICAL GOAL 2

1. 公開講座・幼稚園開放 開催回数  
松本看護大学 公開講座 年 **2** 回以上開催  
松本短期大学 公開講座 年 **2** 回以上開催  
松本短大幼稚園 幼稚園開放日 年 **4** 日以上開催
2. 松本地域におけるボランティア活動参加状況  
松本看護大学在学学生 年 **1** 人 **1** 回以上  
松本短期大学在学学生 年 **1** 人 **2** 回以上
3. 地域との交流会を実施  
松本短大幼稚園 介護施設訪問など 年 **2** 回以上

### STRATEGY 3 に関する数値目標

#### NUMERICAL GOAL 3

1. 学長のリーダーシップによる学校改革件数 **3** 件以上
2. 教職員によるハラスメント件数 **0** 件を維持
3. 研究活動における不正行為及び研究費の不正使用 **0** 件維持



## STRATEGY4に関する数値目標

### **NUMERICAL GOAL4**

1. 資料請求数（大学・短期大学合計） **2020年度比 +10%**
2. 入学定員充足率
  - 松本看護大学 看護学部 **100%**
  - 松本短期大学 幼児保育学科 **100%**
  - 松本短期大学 介護福祉学科 **100%**（各年度、検証）
  - 松本短大幼稚園 **2020年度比 +2%**
3. 学校別及び学部等別専任教員定数の策定 **2025年度以降、実施予定**
4. 業務改善による事務局職員数削減、  
または多様な雇用形態の導入 **2025年度以降、実施予定**
5. 経常収支差額比率 **2025年度 4.0%以上**

## 数値目標を達成するための4つの行動目標

### **NUMERICAL GOAL1** に対する行動目標

#### **GOALS FOR THE NEXT PLAN 1**

<大学・短期大学>

学生が自ら目標を設定し、学習意欲の維持・向上に努めるためのサポートを実施していく。

<幼稚園>

「生きる力の基礎の育成」「豊かな心と健やかな体の育成」に力を注いでいく。

### **NUMERICAL GOAL2** に対する行動目標

#### **GOALS FOR THE NEXT PLAN 2**

ステークホルダーとの連携を強化するため、学園全体の基本方針を検討していく。

### **NUMERICAL GOAL3** に対する行動目標

#### **GOALS FOR THE NEXT PLAN 3**

新しい取り組みを実施することを積極的に評価していく。

### **NUMERICAL GOAL4** に対する行動目標

#### **GOALS FOR THE NEXT PLAN 4**

志願者数・入園希望者数の増加を目的とした広報活動を展開し、入学・入園定員充足率の検証を行う。  
人件費配分の適正化および経費支出の見直しを行う。

# NEXT PLAN

## 2021 → 2025

### 学校法人松本学園の概要

#### 1. 建学の精神

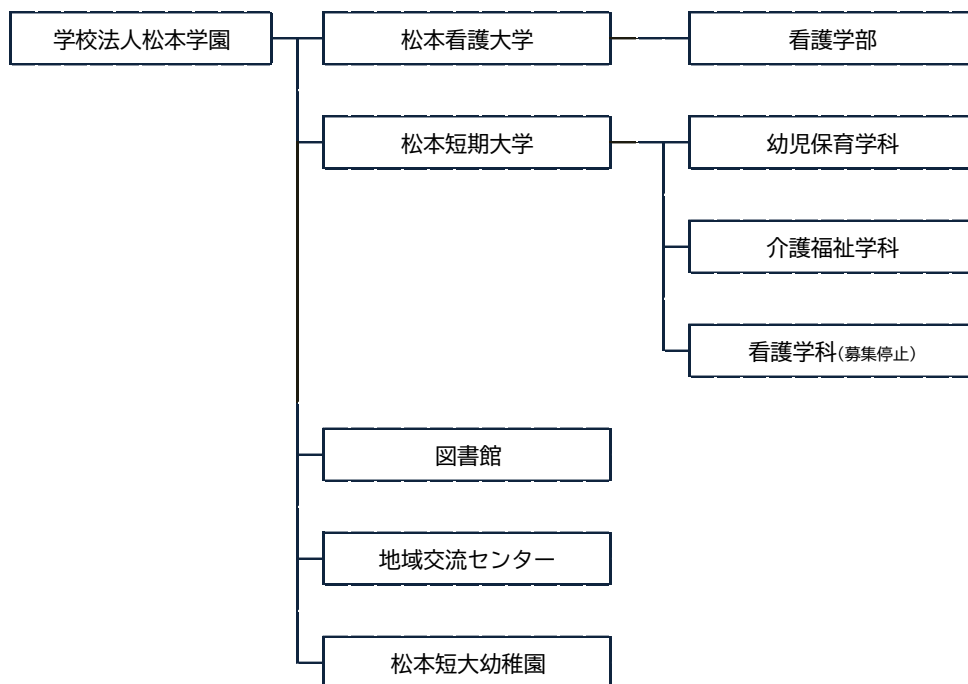
人々の健康と福祉及び教育における学術の教育研究の府として、信濃の国の教育風土に培われた教育への良心と見識をもって、ひとと交わり、ひとを育て、ひとに誠意を尽くす人間性の涵養と、自立した専門職業人(ケアスペシャリスト)の育成を行い、ひいては地域の人々に貢献する。

#### 2. 沿革

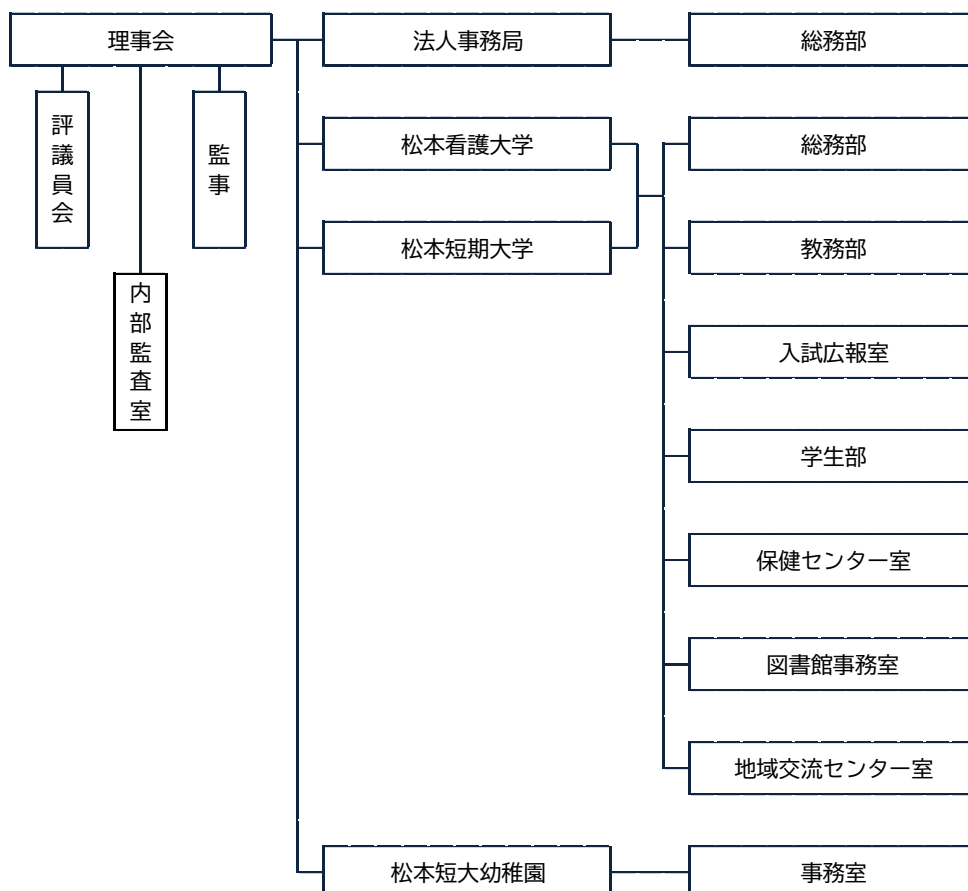
昭和 45 年 12 月	学校法人松本学園 設立認可（長野県知事）
	松本保育専門学校 設置認可
昭和 46 年 4 月	松本保育専門学校 開校
	初代松本学園理事長に上条憲太郎（元長野県教育長）就任
	初代松本短期大学学長に横内秀雄（元長野県教育長）就任
昭和 47 年 1 月	学校法人松本学園 組織変更認可（文部大臣）
	松本短期大学 幼児教育学科 設置認可
昭和 47 年 4 月	松本短期大学 開学
	松本短期大学 幼児教育学科 開設 [入学定員 50 名]
昭和 49 年 8 月	松本短大幼稚園 設置認可 開園
	初代松本短大幼稚園園長に片山光義（前学園常任理事）就任
昭和 52 年 4 月	第 2 代理松本学園理事長に片山光義（松本短大幼稚園園長）就任
	第 2 代松本短期大学学長に上条仰男（前信州大学教授）就任
昭和 63 年 4 月	第 3 代松本短期大学学長に丸山求（前学園副学長）就任
平成 3 年 11 月	第 4 代松本短期大学学長に小山光男（前本学教授）就任
平成 4 年 12 月	松本短期大学 介護福祉学科 設置認可（文部大臣）
平成 5 年 3 月	介護福祉士養成施設 指定認可（厚生大臣）
平成 5 年 4 月	松本短期大学 介護福祉学科 開設 [入学定員 80 名]
平成 7 年 4 月	松本短期大学 専攻科福祉専攻 開設 [入学定員 20 名]

8月	第2代松本短大幼稚園園長に片山司（学園理事長職務代理）就任
平成8年4月	松本短期大学 介護福祉学科 [入学定員100名に変更]
平成9年3月	第3代松本学園理事長に片山司（松本短大幼稚園園長）就任
平成10年4月	第5代松本短期大学学長に山崎健治（介護福祉学科学科長・教授）就任
平成16年4月	松本短期大学 幼児教育学科を幼児保育学科へ学科名称変更
	松本短期大学 幼児保育学科 [入学定員80名に変更]
平成17年12月	松本短期大学 看護学科 設置認可（文部科学大臣）
	看護師学校 指定認可（文部科学省高等教育局長）
平成18年4月	松本短期大学 看護学科 開設 [入学定員60名]
	第6代松本短期大学学長に村山忍三（介護福祉学科学科長・教授）就任
平成20年4月	松本短期大学 幼児保育学科 [入学定員100名に変更]
	松本短期大学 介護福祉学科 [入学定員80名に変更]
	第7代松本短期大学学長に山崎健治（本学前学長・教授）就任
平成23年4月	第4代松本学園理事長に銭坂久紀（前学園理事長代行）就任
	第3代松本短大幼稚園園長に銭坂久紀（前学園理事長代行）就任
平成24年4月	第8代松本短期大学学長に塚田昌滋（元市立岡谷病院院長）就任
平成26年4月	松本短期大学 介護福祉学科 [入学定員65名に変更]
	松本短期大学 看護学科 [入学定員70名に変更]
平成28年4月	第9代松本短期大学学長に木内義勝（元松本大学松商短期大学部学部長）就任
平成30年4月	松本短期大学 介護福祉学科 [入学定員50名に変更]
平成31年4月	松本短大幼稚園 施設型給付幼稚園へ移行
	松本短期大学 介護福祉学科 [入学定員40名に変更]
令和2年4月	松本短大幼稚園 認定こども園へ移行
令和2年10月	松本看護大学 看護学部 設置認可（文部科学大臣）
令和2年12月	看護師学校・保健師学校 指定認可（文部科学省高等教育局長）
令和3年4月	松本看護大学 開学
	松本看護大学 看護学部 開設 [入学定員70名]
	初代松本看護大学学長に上條節子（元松本短期大学教授）就任
	松本短期大学 専攻科福祉専攻 廃止

3. 学園組織図（教育・研究組織） 2021年4月1日現在



4. 学園組織図（法人・事務組織） 2021年4月1日現在



5. 設置学校の入学定員・収容定員 2021年4月1日現在

\*収容定員は学年進行形で記載しています。

学校名	学部	学科	入学定員	収容定員
松本看護大学	看護学部	看護学科	70名	70名
学校名	学科		入学定員	収容定員
松本短期大学	幼児保育学科		100名	200名
	介護福祉学科		40名	80名
	看護学科		募集停止	140名
幼稚園名	収容定員			
松本短大幼稚園	200名			

6. 役員等 2021年4月1日現在

理事 (定数6名~8名) 及び 監事 (定数2名)

理事長	銭坂久紀
理事	赤羽郁夫
理事	上條節子
理事	上條温
理事	木内義勝
理事	坪田明男
理事	三井経光
理事	百瀬常雄
監事	伊藤隆
監事	松川幸寛

理事および監事それぞれ50音順

評議員 (定数13名~17名)

評議員	赤羽郁夫
評議員	上條節子
評議員	上條温
評議員	木内義勝
評議員	窪田高明
評議員	銭坂久紀
評議員	高山知佳
評議員	玉井和宏
評議員	坪田明男
評議員	手塚富喜子
評議員	鳥羽寿々子
評議員	林慎也
評議員	三井経光
評議員	三村幸人
評議員	百瀬常雄
評議員	柳澤佳澄
評議員	渡邊涉

50音順

7. 教職員数 2021年4月1日現在 (幼稚園は兼務、教育補助員を含む)

学校名など	学部・学科名など	専任教員数 (教育補助員含む)	専任職員数
学校法人松本学園	法人事務局	0名	1名
松本看護大学	看護学部	教授○名、准教授○名、講師○名、助教○名、助手○名	○名
松本短期大学	幼児保育学科	教授○名、准教授○名、講師○名、助教○名、助手○名	
	介護福祉学科	教授○名、准教授○名、講師○名、助教○名、助手○名	
	看護学科	教授○名、准教授○名、講師○名、助教○名、助手○名	
松本短大幼稚園		20名	3名

## 学校法人松本学園 **NEXT PLAN 2021→2025** 行動計画

学校法人松本学園 法人事務局では、「**NEXT PLAN 2021→2025 “地域への恩返し”**」を実現するために打ち出した **4** つの戦略のうち、

### **STRATEGY3**

改革の推進とガバナンス体制の強化

### **STRATEGY4**

強固な経営基盤、再び！

について、前述の数値目標と行動目標を踏まえ下記の行動計画を実行していきたいと考えています。

### **STRATEGY3**

改革の推進とガバナンス体制の強化 行動計画

1. 法人事務局において危機管理体制を強化するため、防災マニュアルを整備します。
2. ハラスメント防止のため、教職員への教育を実施します。
3. 理事会・評議員会・監事の役割や機能をわかりやすくステークホルダーに示していきます。
4. 中期経営計画の推進、見直し、検証を行います。
5. 自己点検・評価活動を推進し、教育の質の向上および安定した経営基盤の確立を目指していきます。

### **STRATEGY4**

強固な経営基盤、再び！ 行動計画

1. 大学・短期大学・幼稚園のブランド力を向上させるため、今までの広報体制から新しい広報体制へと移行し、志願者数、入園者数の増加を目指します。
2. 大学学部・短期大学学科・幼稚園それぞれの教員数に定数を策定します。その定数を **2025** 年度より施行し、学部等ごとに適正な人件費配分となるよう努めていきます。
3. 人事考課制度の構築の検討や給与制度の見直し、多様な雇用形態の導入などにより、事務局職員数、または職員人件費の適正化を実施します。
4. 新たに策定した財務計画は、それぞれの部門や部署等の意見をフォーカスした財務計画ではなく、理事長が主導し、法人全体を見渡した中期的な財務計画としました。この財務計画をスピーディに遂行していくためトップダウン方式も取り入れて遂行していきます。

# NEXT PLAN

## 2021 → 2025

### 松本看護大学の概要

#### 1. 大学の理念

松本看護大学は、教育基本法ならびに学校教育法に基づき、医療保健福祉において、深く専門の学芸を研究教授し、豊かな教養と専門学術および職業に必要な能力を修得させ、学生が自らの人格を培うことを援助する。更に、地域社会における医療保健福祉の向上に貢献する人材を育成するとともに看護学の発展に寄与することを目的とする。

#### 2. 看護学部の目的

看護学部は、豊かな人間性を備え、生命の尊厳と人権の尊重を基礎とした看護実践能力を有した人材を育成し、地域社会における保健医療福祉の向上及び看護の発展に貢献できる看護職者を養成することを目的とする。

#### 3. 養成する人材像

「生命の尊厳に基づく倫理観と幅広く深い教養を有し、生涯を通して知識・技術を学び続け、地域の保健医療福祉に対する理解と看護に必要かつ十分な知識と素養を有し、多職種と連携・協働し、地域の保健医療福祉の向上に貢献できる看護実践能力をもった看護職者」

#### 4. 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

看護学部は、所定の卒業要件単位を修得し、次のような能力、資質を備えたうえで、看護学の知識・技術を用いて社会に貢献できる学生に対し、卒業を認定し学士（看護学）の学位を授与する。

- (1)多様な人々との関係を成立・発展することができる。
- (2)主体的に行動することができる。
- (3)多職種と連携し、地域の保健医療福祉の向上に貢献することができる。
- (4)課題を発見し、課題解決を図ることができる。
- (5)看護の知識と看護実践力を有する。
- (6)地域社会の多様な健康課題に対応できる力（保健師課程）

## 5. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

- (1)「多様な人々との関係を成立・発展できる能力」を身につけるための科目を教養科目、専門科目に配置する。
- (2)「主体的行動力」を身につけるための科目を教養科目、連携科目、専門科目に配置する。
- (3)「多職種と連携し、地域の保健医療福祉の向上に貢献する力」を身につけるための科目を教養科目、連携科目、専門基礎科目、専門科目に配置する。
- (4)「課題発見能力と課題解決能力」を身につけるための科目を連携科目、専門科目に配置する。
- (5)「看護の知識と看護実践力」を身につけるための科目を教養科目、専門基礎科目、専門科目に配置する。
- (6)「地域の多様な健康課題に対応できる力」を身につけるための科目を教養科目、専門基礎科目、専門科目に配置する。
- (7)授業形態は教育の目的に応じて講義形式、演習形式、実習形式の3つに区分し、下記の方針に従った教育方法を行う。
  - ・知識の理解を目的とする教育内容については、講義形式をとる。
  - ・態度・志向性及び技術や技能の修得を目的とする教育内容については、演習形式をとる。
  - ・理論と実践の統合を図り、臨地の場において理論的知識や技術を実務に応用するための能力を身につけることを目的とする教育内容については、実習形式をとる。

## 6. 入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

- (1)入学後の大学教育に必要な基礎学力を有している人（知識・技能）
- (2)看護・保健・医療・福祉分野に広く関心のある人（関心・意欲）
- (3)人間の生命を大切に思い、誠実な態度で他者と関わることができる人（多様性・協働性）
- (4)看護学を主体的・創造的に学ぶ意欲を有している人（主体性・関心・意欲）
- (5)人々と良い関係を持ち、自分の考えを的確に表現する力が備わっている人（多様性・協働性・思考力・判断力・表現力）
- (6)主体的に考え行動できる人（主体性）
- (7)大学で学んだ看護学を地域社会の為に生かそうという志のある人（意欲）

## 松本看護大学 **NEXT PLAN 2021→2025** 行動計画

松本看護大学では、「**NEXT PLAN 2021→2025 “地域への恩返し”**」を実現するために打ち出した4つの戦略

<b>STRATEGY 1</b>	学生が成長する教育の実践
<b>STRATEGY 2</b>	ステークホルダーとの連携
<b>STRATEGY 3</b>	改革の推進とガバナンス体制の強化
<b>STRATEGY 4</b>	強固な経営基盤、再び！

について、前述の数値目標と行動目標を踏まえ下記の行動計画を実行していきたいと考えています。

### **STRATEGY 1** 学生が成長する教育の実践 に対する行動計画

1. アセスメント・ポリシーを検討し、成績評価基準の信頼性を確保します
2. シラバスの内容を充実させることで、学生の自己学習をサポートしていきます。
3. 教育方法改善のための **FD** 活動の活発化を推進していきます。
4. 学修成果を把握するため、積極的にポートフォリオを活用していきます。
5. 学生アンケートなどにより、学生の学習環境を改善していきます。

6. 学生や教職員の ICT 技術の向上を推進していきます。
7. 実習や演習等で必要な技術を教員が手本を示し、学生の学習成果獲得をサポートしていきます。

## **STRATEGY2**      ステークホルダーとの連携 に対する行動計画

1. 短期大学と協働で地域社会に貢献できる活動を継続的に行っていきます。
2. 保護者に対する情報提供を充実させていきます。
3. 地域社会のニーズを把握し、定期的な公開講座を開催していきます。
4. 教育に関する情報（カリキュラムや教員の研究状況など）をホームページ上にアップし、「透明性」を高めていきます。

## **STRATEGY3**      改革の推進とガバナンス体制の強化 に対する行動計画

1. ハラスメント防止のため、教職員への教育を実施します。
2. 自己点検・評価活動を推進していきます。
3. 若手教育研究者が活躍できる体制整備を行っていきます。

## **STRATEGY4**      強固な経営基盤、再び！ に対する行動計画

1. 中信地区以外の志願者数の増加を目指していきます。
2. 大学のブランド力向上を目指し、ホームページや SNS、広告動画等を活用していきます。
3. 過去の事例にとらわれず、経費支出の削減を行っていきます。

# NEXT PLAN

## 2021 → 2025

### 松本短期大学の概要

#### 1. 教育の理念

松本短期大学は建学の精神を受けて、幼児保育学科、介護福祉学科、専攻科福祉専攻、看護学科を設置し、地域の人々の保健医療福祉と教育に関する現実の多様なニーズに応えることのできる保育士及び幼稚園教諭、介護福祉士、看護師のケアスペシャリストの養成教育を行う。

**(1)保育士及び幼稚園教諭・介護福祉士・看護師として、「命・可能性・権利を保証し、その人らしい生活を支えるケアスペシャリスト」の育成**

本学の幼児保育学科、介護福祉学科、専攻科福祉専攻、看護学科において、保育士及び幼稚園教諭・介護福祉士・看護師として専門的知識と技術を身につけ、専門職としての自覚と倫理観のもと、ひとと交わり、ひとを育て、ひとに誠意を尽くすことのできるケアスペシャリストの教育を行う。

**(2)地域の保健医療福祉及び教育に貢献できる人材の育成**

本学は地域における保健医療福祉及び教育の多様化・個別化するニーズに対応し、地域に貢献することのできる学生を受け入れ、地域の保健医療福祉及び教育の進展に寄与できる人材を育成する。

#### 2. 教育目標

松本短期大学は教育理念を受けて、「命・可能性・権利を保証し、その人らしい生活を支えるケアスペシャリスト」を育成するために、**3** 学科に共通する「ひとの命と健康を考える」「ひとの可能性を考える」「ひとの生活を考える」「ひとの権利を考える」「学修の基礎力を培う」の**5** つの柱を掲げ、ケアスペシャリストの養成教育を行う。また、地域のニーズを把握し、地域に寄与できる実践能力を育成するとともに、地域に密着し、幅広い視野に立ち、連携・協働できる人間関係調整力を養う。

**(1)ケアスペシャリストとしての人間性と倫理観の育成**

本学では、保育士及び幼稚園教諭・介護福祉士・看護師に必要な専門職としての自覚・責任感・倫理観をもち、信頼関係を築くことができるケアスペシャリストとしての豊かな人間性を育成する。

**(2)ケアスペシャリストに必要な専門的知識・技術・思考能力の育成**

本学では、専門職に必要な基本的、かつ専門的な知識と技術を教授し、その知識と技術を安全に提供でき、さらに応用できる思考の基礎を育成する。

**(3)地域における保健医療福祉及び教育の多様化・個別化するニーズに応える実践能力の育成**

本学では、地域における保健医療福祉及び教育の多様なニーズを把握し、個別のニーズに対応できる

確かな実践能力を育成する。

#### 幼児保育学科

- 1) 保育及び幼児教育に携わる専門職業人としての自覚・責任感・倫理観を育成する。
- 2) ケアスペシャリストとして、人と信頼関係を築くことができる豊かな人間性を育成する。
- 3) 保育及び幼児教育に携わる専門職業人に必要な専門知識・技術・思考能力を育成する。
- 4) 地域における保育及び幼児教育の多様化、個別化するニーズに応える実践能力を育成する。

#### 介護福祉学科

- 1) 豊かな感性を備え、人への深い関心をもち、個人の尊厳を守り、信頼関係を築くことができる人間教育を行う。
- 2) 社会的期待に応えることができるよう介護福祉の倫理のもと、介護福祉の専門的知識と技術を修得し、さまざまな課題を解決できる力を養う。
- 3) 地域に開かれ地域に密着した教育を行い、広い視野に立って多職種との連携・協働を考えることのできる力を養う。

#### 看護学科

- 1) 体系化された実践科学としての看護学を修得し、実践応用の力を身につける。
- 2) 豊かな人間性を持った社会性のある看護専門職者として基本的な能力を身につける。
- 3) 看護専門職者としての意識、責任感、倫理観を身につける。
- 4) 看護専門職者として地域特性を見極めた看護が提供できる能力を身につける。
- 5) 国家試験に合格する看護の知識と技術水準を身につける。

### 3. 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

#### 幼児保育学科

本学科に2年以上在学し、本学の「建学の精神」「教育理念」「教育目標」に基づいて設定した学科の授業科目を履修し、規定する必要単位を修得した学生は、次の到達目標に達した人材であると設定し、「短期大学士」の学位を授与する。

- (1) 基本的教養を身につけ、誠意と思いやりのある豊かな人間性をもち、保育及び幼児教育のケアスペシャリストとしての倫理観を備えている。
- (2) 保育及び幼児教育に関する基本的知識と技術を幅広く習得している。
- (3) 反省的・創造的に保育及び幼児教育活動に取り組むための基盤となる子どもの理解力、保育実践力を身につけている。
- (4) 子どもの成長と発達について理解し、子どもの視点に立ってその最善の利益を保証できるよう思考力と実践力を身につけている。
- (5) 子どもの感性を高める豊かな創造力と想像力を備えている。
- (6) 社会福祉全般に関する知識を持ち、子どもの最善の利益を軸とした分析力と判断力を身につけている。
- (7) 保護者支援に関わる原理・原則の理解及び地域・関連機関との連携を可能とする実践力を身につけている。
- (8) 自立した個人として、また保育及び幼児教育のケアスペシャリストとして主体的に学び続け、生涯にわたって自己の成長を追求できる力を備えている。

#### 介護福祉学科

本学科に2年以上在学し、本学の「建学の精神」「教育理念」「教育目標」に基づいて設定した学科の授業科目を履修し、規定する必要単位を修得した学生は、次の到達目標に達した人材であると認定し、「短期大学士」の学位を授与する。

- (1) 温かいところと豊かな感性を備え、人への深い関心もち、個人の尊厳を守り、信頼関係を築くことができている。

- (2)介護を必要とする人の自立支援と、その人らしい生活を支えることのできる専門的知識と技術を修得している。
- (3)根拠に基づいた介護過程の展開ができ、質の高い利用者本位のサービスを考えることができている。
- (4)常に問題意識をもち、介護実践の質的な向上や介護をめぐる課題について探求し、より良い介護を追求できている。
- (5)介護実習や地域交流等で、多職種との連携・協働や地域に貢献する必要性を理解できている。

#### 看護学科

本学科に3年以上在学し、本学の「建学の精神」「教育理念」「教育目標」に基づいて設定した学科の授業科目を履修し、規定する必要単位を修得した学生は、次の到達目標に達した人材であると認定し、「短期大学士」の学位を授与する。

- (1)人は、身体的・精神的・社会的側面を持つ存在と理解している。
- (2)看護対象者の健康段階・発達段階に応じた看護を実践している。
- (3)看護の本質を学び、自己の看護観をもっている。
- (4)学修を通して、状況に応じた人間関係を築いている。
- (5)自己成長のための努力をしている。
- (6)地域の特性を理解し看護に反映している。

#### 4. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

##### 幼児保育学科

- (1)教養基礎科目は、本学の目標である「命・可能性・権利を保障し、その人らしい生活を支えるケアスペシャリストの育成」という観点から、3学科共通の教養基礎科目の枠組みに基づき編成しています。
- (2)専門科目は、「教科に関する専門科目」と「教職に関する専門科目」から構成されています。これらの科目を、【保育の基礎】【子どもの成長と発達】【感性を高める想像力と創造力】【児童家庭福祉】【保護者支援】【保育実践力】【教養研究】【自己形成】の各分野から配置しています。

##### 介護福祉学科

- (1)介護福祉士の仕事は人間を対象とする。なかでも高齢者や障がい者と接する機会が多い仕事であるため、対人援助技術が重要である。したがって、社会の中での人間を捉え、人との関わり方を重視し、自己の感性を高めていくとともに、相手の立場に立って考える力や信頼関係の構築に役立つ科目構成としている。
- (2)介護福祉学の確立を目指し、理論的根拠を学び、実際の応用能力が得られるように授業内容を工夫している。介護予防や地域包括ケアが重視されている社会に応えることができるようにしている。
- (3)介護の倫理観を養い、個別的な生活課題(ニーズ)に応えることができるように、生命や生活に関連した科目構成としている。
- (4)幅広い視野に立つためには、介護や福祉の理念や生活に関連する法律についての知識も必要になる。介護福祉士として対象者の尊厳と権利を守ることができる科目構成としている。
- (5)地域に開かれ、地域に密着した教育をしていくために、学生が地域から学び、地域での活動の輪を広げて実践できるような科目構成としている。地域において介護実践力を高められるよう、多職種との連携も配慮した科目構成にしている。
- (6)介護実践能力を高めるとともに、研究的な能力を育成するために、介護現場で学んできたことを振り返り、まとめていくことを大切にしている。介護実習終了後には、実習のまとめを行うとともに、2年次には介護研究に取り組み、その成果を発表している。

##### 看護学科

- (1)ケアスペシャリストとしての人間性の育成のために、「ひとの命と健康を考える」、「ひとの可能性とつながりを考える」、「ひとの権利を考える」、「ひとの生活と環境を考える」、「学修の基礎能力を養う」

に基づく看護関連学の科目を配置する。

- (2)看護のケアスペシャリストとして、看護実践に必要な知識・技術を身につけるための看護専門科目を配置する。
- (3)さらに、(1)(2)の科目を統合・発展し実践する分野として看護専門科目に統合分野を配置する。
- (4)地域の保健医療福祉および教育に貢献できる人材育成のために、3学科共通の地域志向科目を配置する。
- (5)看護師国家試験合格に向けた知識と活用力を強化する。

## 5. 入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

### 幼児保育学科

- (1)子どもの育ちと生活に興味・関心がある
- (2)誠実に人と向き合える
- (3)人の話をよく聴き、自分の考えを伝えることができる
- (4)学びや体験の機会に意欲的に取り組むことができる
- (5)入学後の学修に必要な基礎学力がある

### 介護福祉学科

- (1)介護福祉や社会福祉に関心をもち、学ぶ意欲をもっている
- (2)人の立場になって考えることができる
- (3)人の話をよく聴き、自分の考えを伝えることができる
- (4)人と共に協力して活動に取り組むことができる
- (5)入学後の学修に必要な基礎学力がある

### 看護学科

- (1)人の健康、生活、医療に興味・関心がある
- (2)誠実に人と向き合える
- (3)人の話をよく聴き、自分の考えを伝えることができる
- (4)周囲のできごとを自分のこととしてとらえ、感じられる
- (5)入学後の学修に必要な基礎学力がある

## 松本短期大学 NEXT PLAN 2021→2025 行動計画

松本短期大学では、「NEXT PLAN 2021→2025 “地域への恩返し”」を実現するために打ち出した4つの戦略

### STRATEGY 1 STRATEGY 2 STRATEGY 3 STRATEGY 4

学生が成長する教育の実践  
ステークホルダーとの連携  
改革の推進とガバナンス体制の強化  
強固な経営基盤、再び！

について、前述の数値目標と行動目標を踏まえ下記の行動計画を実行していきたいと考えています。

### 幼児保育学科

#### STRATEGY 1

学生が成長する教育の実践 に対する行動計画

1. 入学前から保育者になるというモチベーションを維持し、全員のダブルライセンス取得を目指します。
2. 正課の授業以外にさまざまな学習機会・環境を保証し、学生の主体的学習をサポートしていきます。
3. 学生の多様な学びを評価する方法を構築していきます。

## **STRATEGY2** ステークホルダーとの連携 に対する行動計画

1. 学科独自の企画・運営によるイベントを開催し、地域の子育て家庭を支援します。
2. 教員・学生の人材を活用して、魅力ある公開講座を実施していきます。
3. 学生のボランティア活動を推進し、ドキュメンテーション等を取り入れることにより、学びを深化していきます。

## **STRATEGY3** 改革の推進とガバナンス体制の強化 に対する行動計画

1. ハラスメント防止のための教育を行なうとともに、学生の声に耳を傾けます。
2. 学科教員全体で自己点検・評価活動を推進していきます。
3. 中期経営計画における学科の行動計画について推進・検証を行います。

## **STRATEGY4** 強固な経営基盤、再び！ に対する行動計画

1. 広報体制・方法の充実を図り、定員充足率 **100%**を目指します。
2. 歴史ある保育者養成校というブランド力をアピールし、東・北信の志願者数を増やします。
3. ゼミナール形式の少人数教育を充実させるために必要な専任教員数の確保を目指します。

### 介護福祉学科

## **STRATEGY1** 学生が成長する教育の実践 に対する行動計画

1. ディプロマ、カリキュラム、アドミSSIONの3つのポリシーに基づき、アセスメント・ポリシーを検討し、学修成果の評価基準の確立と教育の改善に努めます。
2. 多様な学生が学び合う学科として、基礎的学力等の向上のため初年次教育を充実します。
3. 介護の対象者への尊厳を守り、対人援助関係を構築できるための教育を学科全教員の連携のもと行います。
4. 科目間連携や教育力の向上のために学科内 **FD** 活動を充実します。
5. 一人一人の学生の成長のために、学科全教員の連携のもと、きめ細かな学修支援に努めます。
6. 学内や地域において、アクティブラーニングの実践等により、広い視野に立って行動できる人材育成に努めます。

## **STRATEGY2** ステークホルダーとの連携 に対する行動計画

1. 松本看護大学と協働し、地域住民に貢献できる活動を継続的に行っていきます。
2. 介護施設・事業所や職員等に貢献できる活動を継続的に行っていきます。
3. 小中高等学校を対象に福祉マインドを育てる活動を継続的に行っていきます。
4. 保護者に対して、情報提供を充実させていきます。
5. ホームページ等に教育に関する情報（カリキュラム、教員の研究情報、教育活動等）を掲載し、透明性をはかると共に介護福祉士養成教育への理解促進を行っていきます。

## **STRATEGY3** 改革の推進とガバナンス体制の強化 に対する行動計画

1. 自己点検・評価を活発化していきます。
2. 教員全員が積極的に教育研究活動に取り組める体制づくりをします。
3. ハラスメント防止のための体制づくりや情報共有に努めます。
4. 教員が **ICT** の有効的活用をできるように努めます。

## **STRATEGY4** 強固な経営基盤、再び！ に対する行動計画

1. 介護福祉士養成教育の必要性について地域の人々への理解を深めるため、県や養成校、関連団体等

との連携し、組織的に活動していきます。

2. 志願者数の増加を目指していきます。
3. 松本短期大学介護福祉学科の伝統と実践のもと、さらなる向上を目指し、情報を発信していきます。
4. 過去の事例にとらわれず、適切な経費を使い、適切な経費削減を行っていきます。

#### 看護学科

### **STRATEGY 1** 学生が成長する教育の実践 に対する行動計画

1. 各領域の看護技術知識の修得のために、演習及び個別指導を充実していきます。
2. 臨地実習への不安感軽減のために、オリエンテーションと個別指導を充実していきます。
3. 学生が各領域の特徴を理解できる臨地実習のために、実習病院との連携を緊密にしていきます。

### **STRATEGY 2** ステークホルダーとの連携 に対する行動計画

1. 地域の医療機関に多くの卒業生が就職し、地域医療の充実に貢献していきます。
2. 保護者に対して **SNS** も活用し、情報提供の充実と連携をより図ります。
3. 地域社会及び地域企業と連携し、健康保健に関わる情報提供を高めていきます。

### **STRATEGY 3** 改革の推進とガバナンス体制の強化 に対する行動計画

1. 学生への指導について倫理的教育を行います。
2. カリキュラムの点検評価をし、学生により分かり易い講義を目指します。
3. 教員の研究活動ができる業務量の分担配分を行います。

### **STRATEGY 4** 強固な経営基盤、再び！ に対する行動計画

1. 留年生 **0** を目指します。
2. 看護師国家試験合格率 **100%** を目指します。
3. 計画的な経費支出を行い、経費削減を目指します。

平成 29 年度に受審した認証評価（一般財団法人短期大学基準協会 [受審時]）において、指摘された改善事項（「早急に改善を要すると判断される事項」）はありませんでしたが、機関別評価結果において「向上・充実のための課題」とされた事項および改善計画・改善状況は、以下の通りです。

－事項－

学科の学習成果を質的・量的に測定するには、各学科が定めた学位授与の方針に示された能力に対応して測定する必要があるため、工夫が望まれる。

－改善計画、改善状況－

全学科：シラバスに授業科目と学位授与の方針に示された能力との関連を明示した。これにより、学位授与の方針の1つ1つに対応する科目を明確にすることができた。また、これは学位授与の方針で示された1つ1つ能力を測定する基礎とすることができるようになった。

幼児保育学科：**GPA** により、一括で測定するのではなく、ドキュメンテーションを取り入れるなどし、学びの深化を測定していきたい。

介護福祉学科：**3** つのポリシーに基づき、アセスメント・ポリシーを検討し、学修成果の評価基準を確立していきたい。

看護学科：学修行動調査を実施するなど間接評価も取り入れ、多面的に測定する方法を検討していきたい。

# NEXT PLAN

## 2021 → 2025

### 松本短大幼稚園の概要

#### 1. 教育目標

やさしく・つよく・すこやかに

#### 2. 幼稚園の教育方針

生きる力の基礎を培うため、保育者の指導のもと毎日の生活や様々な活動や体験・遊びを通しての学び、そして、その後の教育の基礎が培われることを大切にしながら保育を行う。

#### 3. 幼稚園の指導内容

5つの領域

- |                     |        |
|---------------------|--------|
| (1)健康な心と体を育てる領域     | 「健康」   |
| (2)自立心、人との関わりに関する領域 | 「人間関係」 |
| (3)思考力の基礎を育てる領域     | 「環境」   |
| (4)言葉の獲得に関する領域      | 「言葉」   |
| (5)感性と表現に関する領域      | 「表現」   |

#### 4. 特に力を入れて指導している『4つの柱』

##### 1つ目の柱 気づいて、試して学ぶ力

学びのある遊びや、さまざまなことに気づき、試しながら活動をして遊ぶ楽しさを経験、体験したり、また、外国人の先生による英語に触れ 異分化に関わる体験をする。

##### 2つ目の柱 できた、できたが増える力

運動プログラムや、山雅スポーツ指導を通して、体や心の健全な成長を願い、運動遊びを通して、できた!できた!が増え、自信と意欲を育てる。

##### 3つ目の柱 気持ちがつながる力

異年齢の関わりをもったり、集団で関わることにより、思いやりや 気持ちがつながる力を身に着ける。

##### 4つ目の柱 見て触れて、感じる力

信州型自然保育の取り組みにより、自然の中でのびのび遊んだり、自己充実の活動を行う。

## 松本短大幼稚園 NEXT PLAN 2021→2025 行動計画

松本短大幼稚園では、「NEXT PLAN 2021→2025 “地域への恩返し”」を実現するために打ち出した4つの戦略

### STRATEGY 1 STRATEGY 2 STRATEGY 3 STRATEGY 4

園児が成長する教育の実践  
ステークホルダーとの連携  
改革の推進とガバナンス体制の強化  
強固な経営基盤、再び！

について、前述の数値目標と行動目標を踏まえ下記の行動計画を実行していきたいと考えています。

### STRATEGY 1 園児が成長する教育の実践 に対する行動計画

1. 園児指導における「4つの柱」の推進し、柳沢運動プログラム、松本山雅スポーツ指導、英語教育、音楽教育、制作活動などを通して幼稚園指導内容の5領域の内容を計画的に配置します。
2. 遊びを中心とした教育・保育を実践する中で、メリハリの利いた生活スケジュールを作成し、園行事・健康管理等をおこないます。
3. 小学校入学を見据え、35人学級に耐えうる集団行動・生活リズム・体力を身につけるよう努めます。
4. 安全安心につながる、遊具・図書・教育資材等の計画的の整備と食の提供を実施します。

### STRATEGY 2 ステークホルダーとの連携 に対する行動計画

1. 保護者に対する「教育・保育の見える化」につながるタイムリーな情報の提供に努めます。
2. 安全安心につながる、園舎および敷地内の環境整備を計画的に行います。
3. コンプライアンスを遵守しながらの、保護者・小学校等との情報の共有を図ります。
4. コロナ過での新しい在り方を探り、保護者活動の負担軽減を目指します。
5. 入園希望者に対する情報提供として、SNSを利用した広報活動の拡充を図ります。
6. シフト勤務に耐えうる教職員心身の健康管理に努め働きやすい職場づくりを推進します。
7. 教職員の計画的採用とバランスの取れた配置に努めます。
8. 教育・保育を支える教職員経験者の流失防止と個々の教職員スキルアップを目指します。

### STRATEGY 3 改革の推進とガバナンス体制の強化 に対する行動計画

1. 教職員の教育目標・保育目標の明確化と共通認識維持のため時間の確保に努めます。
2. 地域情勢の把握に努め、保護者のニーズ・地域のニーズに対するスピード感のある取り組みに努めます。
3. 当園イメージPRを意識した統一感を保つ整理整頓の実施。

### STRATEGY 4 強固な経営基盤、再び！ に対する行動計画

1. 利用定員に対する充足率向上をめざします。
2. 計画管理と定期的見直しによる的確な軌道修正を行います。
3. 保護者・入園希望者・地域の方との信頼関係の構築を目指した当園の取り組みのアピールを推進します。
4. 長期的視野に立って、計画的補助金を活用した各種整備を実施します。

## 中期的な財務等に関する計画

# NEXT PLAN

## 2021 → 2025

### **STRATEGY4** 強固な経営基盤、再び！ に対する行動計画

学校法人松本学園は開学から **50** 年の間、地域福祉の総合的な教育研究の府として、教育への良心と見識をもち、ケアスペシャリストの育成および地域の人々に貢献することを目指してきました。今後も永続的に教育研究を行っていくためには、私立学校として社会の急激な変化にも十分耐えられるよう、より強固な経営基盤を築いていく必要があります。

この第 **2** 期中期経営計画の実施期間中に固定的である収入の安定化を図った上で、支出に係る財務比率の問題点を改善していくための方針を明確にし、**2025** 年度より実施していくこととします。

固定的である収入…学校法人に対する収入は容易に増額することが難しい「学生生徒等納付金」や「補助金（国や地方公共団体）」が大半（本学園では令和元年度事業活動収支計算書における約 **63%**程度が学生生徒等納付金による収入、補助金収入が約 **34%**（施設設備補助金を含む））であるため、固定的で制約的であると言われています。

企業においては「サービスの提供・拡大」や「モノの生産・販売」により利潤を追求（収入の増額を図ることが可能）することができる経済体であると言えますが、学校法人における会計は上述した通り、学生や園児からの授業料等、国や地方公共団体からの補助金等で構成されているため収入が固定的であり非弾力的な構造を持つ経済体であると言えます。また、学校法人が教育研究を充実させ発展を見据えていくためには、短期間で支出を大幅に削減することは非常に難しいことと言えます。

地域福祉の総合的な教育研究の府として、人材育成などによる“地域への恩返し”を永続的に目指していくためには、この第 **2** 期中期経営計画実施期間の **2021** 年度から **2025** 年度に社会の急激な変化にもビクともしない強固な経営基盤を構築していく方策を検討していく必要があります。

#### 1. 収入の安定を図る（広報計画）

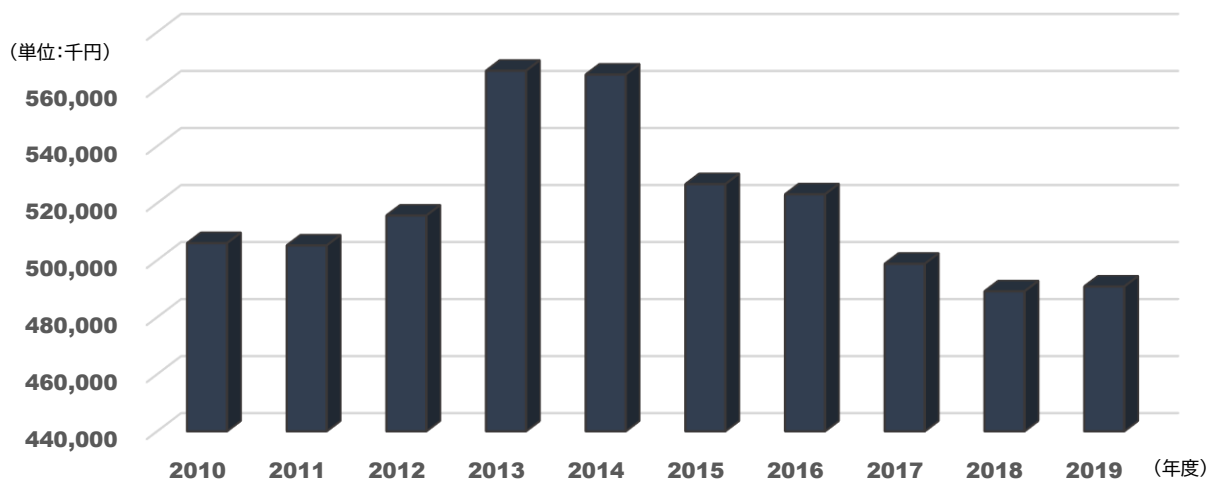
上記に記載した通り、近年の事業活動収支計算書における本学園の収入の約 **65%~80%**が学生生徒等納付金収入によるものです。短期大学における入学定員減や幼稚園の認定こども園化による保育料徴収額の減少もあり、近年の学生生徒等納付金収入は減少傾向にあります。

新たな広報体制を確立させ、志願者数の増加に努め入学定員充足率（幼稚園は認可定員・収容定員）を **100%**としていくことで、永続的に教育研究を行うための経営基盤を確立させていきたいと考えています。

新たな広報計画は「受験生、入園希望者との接触機会を増加させる」ことを目標としていきたいと考えています。短期大学で重視していた個別高校訪問は、高等学校進路指導室の先生方との連携に重点が置かれていましたが、今後は、**SNS** や **Zoom** 等により、受験生に直接アプローチできる機会を増加さ

せていきます。また、幼稚園においても **SNS** を使った広報を拡充させ、体験保育などの参加者増加を目指していきます。

### 学生生徒等納付金収入の経年比較（2010年度～2019年度）



**2014年度** 松本短期大学 介護福祉学科 定員減 [80名→65名] 松本短期大学 看護学科 定員増 [60名→70名]

**2018年度** 松本短期大学 介護福祉学科 定員減 [65名→50名]

**2019年度** 松本短期大学 介護福祉学科 定員減 [50名→40名]

**2019年度** 松本短大幼稚園 施設型給付（幼稚園型）へ移行

### 2025年度 学生生徒等納付金収入（目標値）（単位：円）

部門	金額
松本看護大学	403,200,000
松本短期大学 幼児保育学科	210,000,000
介護福祉学科	73,500,000
計	283,500,000
松本短大幼稚園	8,500,000
合計	695,200,000

注) 入学定員充足率が各年度 **100%**だった場合

**2020年度** 松本短大幼稚園 認定こども園へ移行

**2021年度** 松本看護大学 開学

## 2. 支出に係る財務比率（人事計画）

松本短大幼稚園が認定こども園へ移行し **5年**が経過する **2024年度**は、**2021年度**に開学した松本看護大学が初めて卒業生を地域へと送り出す年度にもなります。短期大学はもちろん、幼稚園、大学が軌道に乗る **2025年度**からは、全国の学校法人財務比率（令和元年度 今日私学財政（大学・短大編））を参考に支出の適正化を図る必要があります。しかし、短期間において適正化を目指していくのではなく、第2期中期経営計画実施期間の **2021年度**から **2024年度**に方向性や状況を確認し、**2025年度**以降の実施に向け準備を進めていくこととします。

財務比率の **1つ**である人件費比率を踏まえた上で、教育研究状況に即した学校別及び学部等別専任教員定数の策定し、それに沿った増員または減員を視野に適正化を図っていきます。事務局職員において

は、様々な雇用形態の導入および人事考課制度を検討するなど業務量に応じた給与制度とし、人件費削減を実施していかねばならないと考えています。

また、予算の執行状況を随時把握し、予算編成時に見込んでいた収入額を下回る予測となった場合は予算の支出額も見直し、収支のバランスを保つことに重点を置きます。

### 3. その他の計画（施設設備計画）

#### (1) 大学・短期大学

・1号館、2号館に設置されている防火シャッターの一斉点検整備を計画しています。（2021年度）  
点検整備実施後、改修の必要性が生じる箇所があった場合は、早急に対応する計画といたします。概算金額は未定（1箇所改修する場合の概算金額は800,000円）です。

・介護実習室に設置されているベッドのうち、耐用年数を超え修理が必要となったものに関し、入れ替えを計画しています。（2021年度～2025年度）

学生数減少に伴い、介護実習室に必要とされるベッド数も減少している状況を踏まえ、1度にすべてのベッドを入れ替えるのではなく、各年度2台までの入れ替えを計画しています。概算金額は5年間で合計2,500,000円です。

・実習指導等の授業で使用できる、書画投影設備の整備を計画しています。（2021年度）

学生アンケートの結果を参考にし、教員からも要望のあった書画投影設備の導入を計画しています。概算金額は200,000円です。

・401教室、402教室、501教室の映像設備の入れ替えを計画しています。（2022年度～2024年度を予定）

使用頻度の高い教室の映像設備が10年を経過することから、現状に則した映像設備の入れ替えを計画しています。概算金額は3年間で合計2,700,000円です。

・1号館、2号館内のWi-Fi設備の拡充を計画しています。（年度は未定）

現在も学生食堂や図書館、中庭、3号館等にWi-Fi設備は整備されていますが、1号館、2号館内の設備拡充を行う計画です。これは学生アンケートの結果や遠隔授業に対する対策を踏まえた計画です。概算金額は（1号館、2号館全体に整備した場合）約8,000,000円です。

#### (2) 幼稚園

年度	整備内容	概算金額	備考
令和3年度	砂場日よけ工事	500万円	県木質空間整備事業
	物置設置工事	250万円	市施設整備補助金
	遊戯室照明器具取替工事	50万円	市施設整備補助金
令和4年度	園舎・遊戯室屋根塗装工事	800万円	県・市施設整備補助金
令和5年度	遊具格納施設設置工事	500万円	県・市施設整備補助金
令和6年度	駐車場排水・舗装工事	800万円	県・市施設整備補助金
令和7年度	防犯用カメラ追加設置工事	50万円	県・市施設整備補助金
令和8年度以降	幼稚園棟・遊戯室建て替え工事	?	おおむね令和13年頃

### 4. 財務計画

次頁以降に大学、短期大学、幼稚園における資金収支計画、事業活動収支計画を記載しております（令和2年11月作成）。この計画がそのまま予算編成時に活用できることを目標としておりますが、各年、前年度決算の状況を勘案しながら、予算編成時、補正予算編成時に見直しを行う必要が生じてまいります。検証を行い適正な財務状況となるよう努めてまいります。

## 財務計画

### 1. 松本看護大学

#### <資金収支計画>

(単位：円)

年度 科目	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
収入の部					
学生生徒等納付金収入	111,300,000	208,600,000	305,900,000	403,200,000	403,200,000
手数料収入	4,321,000	4,542,000	4,763,000	4,784,000	5,684,000
寄付金収入	0	0	0	0	0
補助金収入	16,470,000	32,920,000	70,370,000	93,820,000	93,820,000
資産売却収入	0	0	0	0	0
付随事業・収益事業収入	0	0	0	0	0
受取利息・配当金収入	10,000	20,000	20,000	30,000	40,000
雑収入	40,000	40,000	160,000	160,000	160,000
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	62,650,000	62,650,000	62,650,000	62,650,000	62,650,000
その他の収入	117,522,000	70,570,000	49,148,000	35,100,000	35,100,000
資金収入調整勘定	△62,750,000	△62,750,000	△62,750,000	△62,750,000	△62,750,000
前年度繰越支払資金	0	0	0	0	59,370,000
収入の部合計	249,563,000	316,592,000	430,261,000	536,994,000	597,274,000
支出の部					
人件費支出	216,063,000	239,702,000	294,121,000	295,914,000	266,539,000
教育研究経費支出	11,740,000	43,430,000	61,000,000	94,570,000	95,000,000
管理経費支出	11,220,000	21,620,000	33,600,000	45,600,000	45,287,000
借入金等支出	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0	0
施設関係支出	0	0	0	0	0
設備関係支出	1,540,000	1,540,000	1,540,000	1,540,000	3,000,000
資産運用支出	0	0	0	0	0
その他の支出	10,200,000	11,700,000	41,700,000	41,700,000	41,700,000
[予備費]	0	0	0	0	0
資金支出調整勘定	△1,200,000	△1,400,000	△1,700,000	△1,700,000	△1,700,000
翌年度繰越支払資金	0	0	0	59,370,000	147,448,000
支出の部合計	249,563,000	316,592,000	430,261,000	536,994,000	597,274,000

<事業活動収支計画>

(単位：円)

区分	年 度		2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
	科 目						
教育活動収支	収入の部	学生生徒等納付金	111,300,000	208,600,000	305,900,000	403,200,000	403,200,000
		手数料	4,321,000	4,542,000	4,763,000	4,784,000	5,684,000
		寄付金	0	0	0	0	0
		経常費等補助金	16,470,000	32,920,000	70,370,000	93,820,000	93,820,000
		付随事業収入	0	0	0	0	0
		雑収入	40,000	40,000	160,000	160,000	160,000
		教育活動収入計	132,131,000	246,102,000	381,193,000	501,964,000	502,864,000
教育活動収支	支出の部	人件費	216,063,000	239,702,000	294,121,000	295,914,000	266,539,000
		教育研究経費	36,740,000	68,430,000	106,000,000	139,570,000	140,000,000
		管理経費	13,220,000	24,620,000	38,100,000	50,100,000	49,787,000
		徴収不能額	0	0	0	0	0
		教育活動支出計	266,023,000	332,752,000	438,221,000	485,584,000	456,326,000
教育活動収支差額		△133,892,000	△86,650,000	△57,028,000	16,380,000	46,538,000	
教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金	10,000	20,000	20,000	30,000	40,000
		その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
		教育活動外収入計	10,000	20,000	20,000	30,000	40,000
	支出の部	借入金等利息	0	0	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0	0	0
	教育活動外収支差額		10,000	20,000	20,000	30,000	40,000
経常収支差額		△133,882,000	△86,630,000	△56,968,000	16,410,000	46,578,000	
特別収支	収入の部	資産売却差額	0	0	0	0	0
		その他の特別収入	20,000	20,000	40,000	40,000	40,000
		特別収入計	20,000	20,000	40,000	40,000	40,000
	支出の部	資産処分差額	0	0	0	0	0
		その他の特別支出	0	0	0	0	0
		特別支出計	0	0	0	0	0
	特別収支差額		20,000	20,000	40,000	40,000	40,000
[予備費]		0	0	0	0	0	
基本金組入前当年度収支差額		△133,862,000	△86,610,000	△56,968,000	16,450,000	46,618,000	
基本金組入額合計		0	0	0	0	△3,000,000	
当年度収支差額		△133,862,000	△86,610,000	△56,968,000	16,450,000	43,618,000	
前年度繰越収支差額		0	△133,862,000	93,280,944	36,312,944	52,762,944	
基本金取崩額		0	0	0	0	0	
翌年度繰越収支差額		△133,862,000	△220,472,000	36,312,944	52,762,944	96,380,944	

(参考)

事業活動収入 計	132,161,000	246,142,000	381,253,000	502,034,000	502,944,000
事業活動支出 計	266,023,000	332,752,000	438,221,000	485,584,000	456,326,000

## 2. 松本短期大学

### <資金収支計画>

(単位：円)

年度 科目	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
収入の部					
学生生徒等納付金収入	437,500,000	360,500,000	283,500,000	283,500,000	283,500,000
手数料収入	6,433,000	5,712,000	5,591,000	5,591,000	6,491,000
寄付金収入	0	0	0	0	0
補助金収入	76,055,000	61,432,000	50,715,000	50,715,000	50,715,000
資産売却収入	0	0	0	0	0
付随事業・収益事業収入	12,000,000	12,000,000	12,000,000	12,000,000	12,000,000
受取利息・配当金収入	190,000	170,000	180,000	195,000	200,000
雑収入	11,830,000	1,530,000	220,000	13,220,000	280,000
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	91,125,000	91,125,000	91,125,000	91,125,000	91,125,000
その他の収入	△33,492,000	△2,240,000	44,682,000	40,430,000	40,430,000
資金収入調整勘定	△116,200,000	△103,525,000	△102,225,000	△115,225,000	△115,225,000
前年度繰越支払資金	766,232,455	747,109,455	725,054,455	817,371,455	889,576,455
収入の部合計	1,251,673,455	1,173,813,455	1,110,842,455	1,198,922,455	1,259,092,455
支出の部					
人件費支出	335,394,000	304,829,000	176,836,000	192,711,000	190,000,000
教育研究経費支出	71,060,000	57,290,000	48,305,000	48,305,000	48,000,000
管理経費支出	29,160,000	26,460,000	20,850,000	20,850,000	20,000,000
借入金等支出	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0	0
施設関係支出	0	0	0	0	0
設備関係支出	5,250,000	3,280,000	2,480,000	2,480,000	3,000,000
資産運用支出	0	0	0	0	0
その他の支出	68,900,000	59,300,000	47,800,000	47,800,000	45,000,000
[予備費]	0	0	0	0	0
資金支出調整勘定	△5,200,000	△2,400,000	△2,800,000	△2,800,000	△2,800,000
翌年度繰越支払資金	747,109,455	725,054,455	817,371,455	889,576,455	955,892,455
支出の部合計	1,251,673,455	1,173,813,455	1,110,842,455	1,198,922,455	1,259,092,455

<事業活動収支計画>

(単位：円)

区分	年度		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	科目						
教育活動収支	収入の部	学生生徒等納付金	437,500,000	360,500,000	283,500,000	283,500,000	283,500,000
		手数料	6,433,000	5,712,000	5,591,000	5,591,000	6,491,000
		寄付金	0	0	0	0	0
		経常費等補助金	76,055,000	61,432,000	50,715,000	50,715,000	50,715,000
		付随事業収入	12,000,000	12,000,000	12,000,000	12,000,000	12,000,000
		雑収入	11,830,000	1,530,000	220,000	13,220,000	280,000
		教育活動収入計	543,818,000	441,174,000	352,026,000	365,026,000	352,986,000
教育活動収支	支出の部	人件費	335,394,000	302,513,000	175,935,000	190,890,000	190,000,000
		教育研究経費	141,210,000	127,440,000	99,305,000	99,305,000	100,000,000
		管理経費	38,160,000	34,460,000	27,350,000	27,350,000	28,000,000
		徴収不能額	0	0	0	0	0
		教育活動支出計	514,764,000	464,413,000	302,590,000	317,545,000	318,000,000
教育活動収支差額		29,054,000	△23,069,000	49,436,000	47,481,000	34,986,000	
教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金	190,000	170,000	180,000	195,000	200,000
		その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
		教育活動外収入計	190,000	170,000	180,000	195,000	200,000
	支出の部	借入金等利息	0	0	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0	0	0
	教育活動外収支差額		190,000	170,000	180,000	195,000	200,000
経常収支差額		29,244,000	△23,069,000	49,616,000	47,676,000	35,186,000	
特別収支	収入の部	資産売却差額	0	0	0	0	0
		その他の特別収入	60,000	60,000	40,000	40,000	40,000
		特別収入計	60,000	60,000	40,000	40,000	40,000
	支出の部	資産処分差額	0	0	0	0	0
		その他の特別支出	0	0	0	0	0
		特別支出計	0	0	0	0	0
	特別収支差額		60,000	60,000	40,000	40,000	40,000
[予備費]		0	0	0	0	0	
基本金組入前当年度収支差額		29,304,000	△23,009,000	49,656,000	47,716,000	38,226,000	
基本金組入額合計		△2,550,000	△1,480,000	△980,000	△980,000	△3,000,000	
当年度収支差額		26,754,000	△24,489,000	48,676,000	46,736,000	35,226,000	
前年度繰越収支差額		1,662,140,371	1,688,894,371	1,350,652,427	1,399,328,427	1,446,064,427	
基本金取崩額		0	0	0	0	0	
翌年度繰越収支差額		1,688,894,371	1,664,405,371	1,399,328,427	1,446,064,427	1,481,290,427	

(参考)

事業活動収入 計	544,068,000	441,404,000	352,246,000	365,261,000	353,226,000
事業活動支出 計	514,764,000	464,413,000	302,590,000	317,545,000	318,000,000

### 3. 松本短大幼稚園

#### <資金収支計画>

(単位：円)

年度 科目	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
収入の部					
学生生徒等納付金収入	8,200,000	8,300,000	8,400,000	8,500,000	8,500,000
手数 169,料収入	0	0	0	0	0
寄付金収入	0	0	0	0	0
補助金収入	140,000,000	141,000,000	140,000,000	141,000,000	141,000,000
資産売却収入	0	0	0	0	
付随事業・収益事業収入	7,000,000	7,000,000	7,000,000	7,000,000	7,000,000
受取利息・配当金収入	50,000	50,000	70,000	50,000	50,000
雑収入	280,000	280,000	280,000	280,000	280,000
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	0	0	0	0	0
その他の収入	18,000,000	18,000,000	18,000,000	18,000,000	18,000,000
資金収入調整勘定	0	0	0	0	0
前年度繰越支払資金	184,807,839	161,902,839	140,466,839	122,798,839	102,914,839
収入の部合計	358,337,839	336,532,839	314,196,839	297,628,839	277,744,839
支出の部					
人件費支出	112,200,000	112,000,000	112,500,000	113,000,000	113,500,000
教育研究経費支出	16,000,000	16,000,000	16,000,000	16,000,000	16,000,000
管理経費支出	15,000,000	15,000,000	15,000,000	15,000,000	15,000,000
借入金等支出	1,605,000	1,436,000	1,268,000	1,084,000	945,000
借入金等返済支出	22,630,000	22,630,000	22,630,000	22,630,000	22,630,000
施設関係支出	8,000,000	8,000,000	5,000,000	8,000,000	2,000,000
設備関係支出	3,000,000	3,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
資産運用支出	0	0	0	0	0
その他の支出	18,000,000	18,000,000	18,000,000	18,000,000	18,000,000
[予備費]	0	0	0	0	0
資金支出調整勘定	0	0	0	0	0
翌年度繰越支払資金	161,902,839	140,466,839	122,798,839	102,914,839	88,669,839
支出の部合計	358,337,839	314,196,839	314,196,839	297,628,839	277,744,839

<事業活動収支計画>

(単位：円)

区分	年度		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	科目						
教育活動収支	収入の部	学生生徒等納付金	8,200,000	8,300,000	8,400,000	8,500,000	8,500,000
		手数料	0	0	0	0	0
		寄付金	0	0	0	0	0
		経常費等補助金	136,000,000	137,000,000	137,500,000	137,000,000	140,750,000
		付随事業収入	7,000,000	7,000,000	7,000,000	7,000,000	7,000,000
		雑収入	280,000	280,000	280,000	280,000	280,000
		教育活動収入計	151,480,000	152,580,000	153,180,000	152,780,000	156,530,000
教育活動収支	支出の部	人件費	112,200,000	112,000,000	112,500,000	113,000,000	113,500,000
		教育研究経費	24,000,000	24,000,000	24,000,000	24,000,000	24,000,000
		管理経費	15,800,000	15,800,000	15,800,000	15,800,000	15,800,000
		徴収不能額	0	0	0	0	0
		教育活動支出計	150,200,000	151,800,000	152,300,000	152,800,000	153,300,000
教育活動収支差額		△520,000	780,000	880,000	△20,000	3,230,000	
教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
		その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
		教育活動外収入計	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
	支出の部	借入金等利息	1,605,000	1,436,000	1,268,000	1,084,000	945,000
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
		教育活動外支出計	1,605,000	1,436,000	1,268,000	1,084,000	945,000
教育活動外収支差額		△1,555,000	△1,386,000	△1,218,000	△1,034,000	△895,000	
経常収支差額		△2,075,000	△606,000	△338,000	△1,054,000	2,335,000	
特別収支	収入の部	資産売却差額	0	0	0	0	0
		その他の特別収入	4,000,000	4,000,000	2,500,000	4,000,000	250,000
		特別収入計	4,000,000	4,000,000	2,500,000	4,000,000	250,000
	支出の部	資産処分差額	0	0	0	0	0
		その他の特別支出	0	0	0	0	0
		特別支出計	0	0	0	0	0
特別収支差額		4,000,000	4,000,000	2,500,000	4,000,000	250,000	
[予備費]		0	0	0	0	0	
基本金組入前当年度収支差額		1,925,000	3,344,000	2,112,000	2,896,000	2,535,000	
基本金組入額合計		△8,000,000	△8,000,000	△5,000,000	△8,000,000	△500,000	
当年度収支差額		△6,075,000	△4,656,000	△2,888,000	△5,104,000	2,035,000	
前年度繰越収支差額		△485,574,818	△491,649,818	△496,305,818	△499,193,818	△504,297,818	
基本金取崩額		0	0	0	0	0	
翌年度繰越収支差額		△491,649,818	△496,305,818	△499,193,818	△504,297,818	△502,262,818	

(参考)

事業活動収入 計	155,530,000	156,580,000	155,680,000	156,780,000	156,780,000
事業活動支出 計	153,605,000	153,236,000	153,568,000	153,884,000	154,245,000

# NEXT PLAN

2021→2025

## — 人間性増強への新たな取り組み —

これからの**5**年間を考える前に、まず看護学科の終焉に関して手段を講じなければなりません。最後の入学生として令和**2**年**4**月に受け入れた看護学科の学生は、令和**5**年**3**月に**3**年間の課程を終えます。望むらくはすべての「令和**2**年度生」がその時期までに無事に卒業を迎えてほしいものです。ただ、留年生が残る場合を想定すると、教職員が一丸となって卒業を果たせなかった学生の面倒を見る体制を、今から準備していく必要があります。

幼児保育、介護福祉、看護の**3**学科の学生に共通して職場で求められる資質は、相手に対して「全人的に」向かい合える能力です。座学を通じた知識の吸収に加え、学内外での実習は、異なる相手に「寄り添う技」をみがく機会になります。換言すると、本学の学生は「眼耳鼻舌身の五官を介して」相手に接する技と人間性を卒業までに身に着けなければなりません。具体的な知識と技術に並んで、やさしい心遣いに支えられた「豊かな人間性」が強く求められてきます。人工知能が発達して、これから多くの職業が失われるという議論が一時は盛んでした。本学の卒業生は、そのような危惧とは無縁の存在であることを、人間性の豊かさを誇ることによって示せる教育を、今後の**5**年間に施さねばなりません。

文部科学省は「学力の3要素」に①十分な知識・技能、②自ら解を見いだしていく思考力・判断力・表現力、③多様な人々と協働して学ぶ態度を挙げています。①と②は、従来の修学形式を継承しつつ工夫を加える要素といえます。他方、看護も介護福祉もこれからは施設内の仕事だけでなく、在宅介護・看護など外での協働作業が増え、幼児保育も地域や保護者との関わりが多くなることが想定されます。そのためには、③「多様な人々と共に学ぶ態度」を養う課程や機会を取り入れ、実践能力をつける必要があります。この措置は学生本人の自己成長のためにも重要です。さらに、「地域貢献」ではなく地域の皆さんに学生を育てていただく視点から、地域との関わりを捉え直す必要性が生じてきます。地域活動を最良の教育の場に変換する姿勢を把持しなければなりません。

松本短期大学

学長 木内 義勝

# NEXT PLAN

2021→2025

## — 開学を迎えて —

地域の皆様に支えられ、松本看護大学の開学を迎えることができた今、大学設置に関係して下さったすべての方々に感謝を申し上げたい想いと共に、松本看護大学を設置する運びとなった“経緯”について思い出すことがあります。

本学の前身となる松本短期大学看護学科が認可された**2006**年当初、建学の精神を旨として、教職員一丸となり「自立したケアスペシャリスト」の育成に力を注いでいたことをよく覚えています。豊かな人間性を持ち、社会性のある看護専門職者としての基本的能力（知識・技術）を身につけてもらうため、「学内」においてカリキュラムの検証や学修成果獲得状況の把握などの検討を何度も重ねておりました。

しかし、「学内」ではなく「医療現場を取り巻く環境」に目を向けると、少子高齢化の進展、医療技術の進歩、医療提供の場の多様化等により大きく変化し、医療の果たすべき機能は急性期医療、リハビリテーション医療、在宅医療、地域における看取り、さらには、それらに対する支援まで広がり、それに応じて看護提供の場も拡大している状況でした。加えて、保健医療福祉分野の多職種による緊密なチーム医療の提供が必要になり、看護職の役割も拡大・複雑化し、これまで以上に高度な看護実践力が求められるようになりました。これは長野県、及び本学の位置する松本市においても同様であり、特に在宅医療の医療需要が増加することから、訪問看護師の重要性がクローズアップされています。このような社会的変化を踏まえた中で松本短期大学看護学科での教育とその成果を振り返ると、今後、地域社会のニーズに則した看護職者の育成をしていくためには、カリキュラムの更なる過密化は避けられなくなることが明確であると結論付けられたことが、四年制の松本看護大学を設置するきっかけであったと感じております。

本学では地域社会における保健医療福祉の向上及び看護学の発展に寄与していくことを目的とし、地元の保健医療福祉の関連機関で活躍できる人材を育て、地域の皆様の健康増進と健康な生活づくりに参画させていただくことで「地域への恩返し」を実現していきたいと考えております。

松本看護大学

学長 上條 節子

# NEXT PLAN

2021→2025

## — 松本短大幼稚園 NEXT PLAN —

### STRATEGY1 「園児が成長する教育の実践に対する行動計画」

令和元年4月1日から幼稚園型認定こども園としてスタートしました。念願であった0歳児～6歳児までの一貫した保育・教育を行うことが可能になりました。幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿があります。これを3つにまとめますと、○ 身体を使うこと大好き！○ 自分で考えること大好き！○ 人とかかわること大好き！になります。今まで培った園目標、「やさしく つよく すこやかに」園児指導における「4つの柱」、食育を自園で実施できる自園給食、6年間を見通す保育・教育環境が整えられました。

#### 1 保育園部、幼稚園部の指導内容

5つの領域 「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」との関連

・学ぶ力（気づいて試して）「人間関係」「言葉」「表現」「環境」

※自分で考えること大好き！

保育者も子供と一緒に遊び「やってみる」「触れてみる」「感じてみる」さらに友だちとの関わりを通して気づき遊び、夢中になって遊びこむ活動を行います。製作活動を通して、一人ひとりの創造力、発想力を深めます。日本歌唱童謡教育学会（事務局松本短大）との連携により、乳幼児に日本の文化というべき楽曲歌い継ぎ情操教育をおこないます。

外国人の先生による英語教室で本物の英語に触れ、異文化に関わる体験も行います。

・増える力（できたできたが増える力）「健康」「人間関係」「表現」

※身体を使うこと大好き！

乳幼児期からの柳沢運動プログラム、松本山雅スポーツ指導により体だけでなく、心のバランスがとれた健全な成長に結びつけます。さらにできた！できた！で運動好きな子どもをそだてます。自園給食となり食育を通して健康な身体をつくります。

・気持ちがつながる力

※人とかかわること大好き！「健康」「人間関係」「環境」

学年の枠にとどまらず、一緒に散歩に出かけたり、集団遊びをしたりして異年齢での活動を積極的に行います。松本短期大学の学生とも教育実習や授業で関わる機会が多く、子どもたちとの交流を深めます。

・見て触れて感じる力

※人とかかわること大好き！「健康」「人間関係」「環境」

信州型自然保育も取り入れ、より自然に触れる活動を行い探求心を育てます。

「なぜ？」「どうして？」といった疑問について、保育者や友だちと考えあって問題を解決します。

- 2 小学校入学を見据え、**35**人学級に耐えうる集団行動、基本的な生活習慣を身に着けるように努めます。
- 3 安全につながる、遊具、図書、教育資材等の計画的整備を提供、実施します。

#### **STRATEGY2**「ステークホルダーとの連携に対する行動計画」

- ・保護者に対する「教育・保育の見える化」につながるタイムリーな情報提供に努めます。  
※乳幼児の成長の見える化を提供する、ドキュメントシートづくり、個人の成長を提示するポートフォリオづくりを行います。  
※メール配信システムの導入、運営を行い園児の活動場面の写真提供も行います。  
※保育日誌を毎日更新し、ホームページにて保護者へ園児の活動状況を提供します。
- ・コロナ禍での新しい生活様式の確立をします。玩具、遊具の定期的な消毒を行い乳幼児の安心、安全な過ごし方を確立します。さらに保護者活動の負担軽減をめざします。
- ・安心安全につながる、園舎および敷地内の環境整備を計画的に行います。
- ・コンプライアンスを遵守しながら、保護者、小学校、保育課等との情報の共有を図ります。
- ・入園希望者に対する情報提供として、**SNS** を利用した広報活動の拡充を図るとともに園見学を勧めます。
- ・認定こども園幼稚園型となり、職員の勤務体制もシフト制になりました。教職員の心身の健康管理の上で、働きやすい職場づくりを推進します。
- ・教育・保育を支える教職員経験者の質の向上をスキルアップするために研修も取り入れ、職員の流失防止も図ります。
- ・教職員の計画的採用とバランスの取れた配置に努めます。

松本短大幼稚園

園長代行 高山 知佳

# NEXT PLAN

## 2021→2025

### 保育・教育に携わる職員配置から見た目標園児数

保育・教育に携わる専任教員(保育士・幼稚園教諭・保育教諭)の人数は、令和2年の認定こども園化により必要人数が増したことにより、令和元年度7名から令和3年度18名へと2.57倍へ増加した。令和3年度4月時点の年代別構成は下記のとおりである。

(副園長1名、主任教諭2名を含む)

年齢別構成	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
(参考:令和元年度末)	4	1	0	1	1	0	7
令和3年4月1日現在	10	1	3	2	2	0	18
(参考:令和7年度末)	6	4	3	3	1	1	18

結婚・出産・子育てを迎える30代の人数は少ないが、おおむねバランスの取れた年代構成といえる。

利用定員に対する必要な教員数は、主任教諭2名を除く16名が最低必要数となるので、専任教員だけでその数を賄える状態となっている。しかし、シフト制の導入により月曜日から土曜日までの勤務体制をとっているため、ほぼ毎日専任教員1人に代休が付与され、その補充として非常勤教員に頼らざるを得ない状況である。

松本市によると、令和2年度0-5歳児の推計は11,650人。令和6年度0-5歳児の推計は10,903人で、今後4年間で約750人の減少が見込まれる。このように、園児対象年齢児の減少が見込まれる中、松本短大幼稚園中期計画では利用定員総数の増加を図るのではなく、現在の利用定員の充足率を満たすことを中期目標と定めたい。

特に3号認定児(0歳児から2歳児)・満3歳児の園児数確保に力を注ぐことが重要であり、低年齢児の充足率を満たすことは、次年度以降の安定的な在園児確保につながる。そのため、各年度当初、3号認定児の充足率90%以上(30人)と目標を定めたい。満3歳児については、年度当初からの受入れが出来ないため、各年度末に充足率80%以上と目標を定めたい。ただし、生活様式の多様化等により、利用定員内訳の見直しは年度ごとに検討を行う必要がある。

確保される園児数により、必要とする教員数に変動が生じるため、今後、流動的な教員配置に対応できるよう、60歳以上のベテラン教員を停年後に非常勤教員として極力採用するとともに、専任教員に欠員が生じた場合には、シフト勤務可能な非常勤講師の採用と若い世代の教員を採用し育成することに主眼を置き、年代的にバランスを重視した教員配置を目指す。また、専任教員数が増えたこと、当法人は55歳にて昇給停止であることなどから、50代前半までの教員を積極的に役職に登用することで組織の活性化を図り、高齢となる教員の業務負担軽減を図るため50代後半での役職定年とうい流れを目指したい。人件費の高騰を抑制しつつ、働き甲斐があり、目的意識(目標)を共有できる職場づくりを図る。

### 施設・設備の充実と補助金の活用

認定こども園化にあたり新園舎を増築したが、幼稚園棟・遊戯室はまもなく築50年を迎える。また、こども園化に伴い撤去した物置の確保や、駐車場の確保等の施設整備について計画的な整備が必要となる。

年度	整備内容	概算金額	備考
令和 3 年度	砂場日よけ工事	500 万円	県木質空間整備事業
	物置設置工事	250 万円	市施設整備補助金
	遊戯室照明器具取替工事	50 万円	市施設整備補助金
令和 4 年度	園舎・遊戯室屋根塗装工事	800 万円	県・市施設整備補助金
令和 5 年度	遊具格納施設設置工事	500 万円	県・市施設整備補助金
令和 6 年度	駐車場排水・舗装工事	800 万円	県・市施設整備補助金
令和 7 年度	防犯用カメラ追加設置工事	50 万円	県・市施設整備補助金
令和 8 年度以降	幼稚園棟・遊戯室建て替え工事	?	おおむね令和 13 年頃

上記の表に事業計画案をまとめた通り、必要に応じ優先順位の高いもの、補助金の対象事業になる案件から整備していく。さらには、今後 10 年先を見据えての新園舎建設についての検討が必要となる。

また、令和 2 年に伊藤建築設計様より指摘を受けた、規格に適合しない遊戯室小屋ブレースについては、建物が耐震基準である IS 値を満たしているため補助事業の対象にはならず早急な交換を必要とするものではない。

新型コロナウイルス対策用備品類・教育研究用備品類の整備計画については下表の通り。

年度	整備内容	概算金額	備考
必要に応じて	コロナ対策用品(年間)	20 万円	県補助事業
	絵本・紙芝居等(年間)	20 万円	県補助事業
	開園 50 周年記念遊具	200 万円	県補助事業
	ピアノ・楽器類	80 万円	県補助事業
	コピー機	100 万円	県補助事業
	パソコン等 ICT 機器	200 万円	県補助事業
令和 8 年度以降	スクールバス 1 号車買い替え	500 万円	おおむね令和 13 年頃

絵本・紙芝居等は各年度補充が必要となる。また、コロナ対策用品は今後数年必要になると思われる。その他の物品については、極力補助金を利用し計画的な調達を図る。さらには、今後 10 年先を見据えてのスクールバス 1 号車買い替えについての検討が必要となる。

また、長野県からの学校法人補助金の中の私立幼稚園教育振興費については、園の教育内容・教育活動に対する比重が高く、補助金獲得を見据えて年度当初から行事計画を組む必要があるため、行事計画を見直し積極的な補助金獲得を目指す。

学校法人 松 本 学 園

法人事務局長 玉 井 和 宏

